

令和6年度 経営改革プラン

団体名	一般財団法人神戸農政公社
-----	--------------

設立年月日	昭和54年2月20日	
団体の設立目的・沿革	<p>市域の農漁業の振興および里山・農村地域の活性化に資する事業を実施することにより、市民福祉の向上と市域農漁業および里山・農村地域の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>S.54.2 (財) 神戸市園芸振興基金協会 H12.4 (財) 神戸みのりの公社 [(財) 神戸市緑農海浜公社と統合] R3.7 (一財) 神戸農政公社 (団体名変更)</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	里山・農村地域活性化事業	経済観光局農政計画課
	六甲山牧場管理運営	経済観光局農水産課
	海づり公園管理運営	経済観光局農水産課
	フルーツ・フラワーパーク管理運営	経済観光局農水産課
	神戸ワイナリー（農業公園）管理運営	経済観光局農水産課
	西部域漁港管理・栽培漁業センター	経済観光局農水産課
	神戸ワイン事業	自主事業
代表者	理事長 大崎 克英	

役職員数 (令和5年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	1	-	-	-		53	54
神戸市派遣職員	1	2	-	-		4	7
神戸市OB職員	1	-	-	-	2		3
その他	-	12	-	2	7	7	28
合計	3	14	-	2	9	64	92

財務状況（単位：百万円）	令和4年度	令和3年度	差引
經常損益	14	16	▲ 2
当期正味財産増減額	11	▲ 9	20
流動資産	794	839	▲ 45
流動負債	220	213	7
長期借入金（固定負債）	910	980	▲ 70
期末現金預金残高	38	54	▲ 16

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	持続可能な里山・農村地域の振興への貢献
ミッション②	農村への移住・定住の促進
ミッション③	豊かな海づくりの推進
ミッション④	経営安定化に向けた財務体質の強化
ミッション⑤	ガバナンス・コードに即した組織運営および働き甲斐のある職場づくり・キャリア制度の確立

■ 短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	里山・農村地域の活性化に関する事業の実施、具体的成果の早期実現
ミッション②	循環型農業の推進
ミッション③	水産資源の維持・増大
ミッション④	経営安定化に向けた財務体質の強化
ミッション⑤	働き甲斐のある職場環境の整備

■ 経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲0.115	0.160	0.3ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	25.48%	24.73%	▲0.8ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	0.67%	0.58%	▲0.1ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	160.42%	188.94%	28.5ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	394.07%	360.29%	▲33.8ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	0.55%	1.03%	0.5ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	▲63.60%	45.50%	109.1ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲63.60%	45.50%	109.1ポイント

■ミッション工程表

ミッション名		令和6年度	令和7年度～
中長期的ミッション			
①	持続可能な里山・農村地域の振興への貢献	1. 持続可能な農漁業の振興 【農業の担い手育成】	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹の新規就農者の育成 果樹就農 30名 (累計) ・ 神戸ネクストファーマー (資格者) 100名 (累計) ・ こうべ給食ファーマーの育成 50名 (累計) ・ 神戸農村スタートアッププログラム 受講 60名 (累計) 【農漁業振興施設の運営強化】	<ul style="list-style-type: none"> 果樹就農 40名 (累計) 130名 (累計) 75名 (累計) 受講 80名 (累計)
②	農村への移住・定住の促進	・ フルーツ・フラワーパーク バイテク事業 (6種) による地域固有資源の継承、生産振興	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 六甲山牧場 但馬牛の肥育農家等へ供給 (素牛10頭/年) ・ 栽培漁業センター 種苗生産 (目標魚種 3→5) による水産資源の確保 (ヒラメ・マナマコ・アサリ・マコガレイ・カサゴ) ・ 平磯海づり公園 漁港施設の適正利用 (釣り客とのトラブル防止等)、市民レクリエーション ・ 農業公園 ワイン用ブドウの栽培指導、押部谷果樹団地振興 等 【SDGs農業の普及・推進】	
③	豊かな海づくりの推進	・ 堆肥ペレット化施設を活用した耕種農家への堆肥利用促進	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹剪定枝、伐採竹林の炭化および炭素固定 (CO₂25トン/年) 等 ・ スマート農業の促進 (ラジコン草刈機デモ実施、貸出等による普及等) 2. 農村定住環境の整備 【定住人口の増加】	
④	経営安定化に向けた財務体質の強化	・ ワンストップ窓口の運営、定住促進コーディネーター、空家バンク、移住体験施設	
⑤	ガバナンス・コードに即した組織運営および働き甲斐のある職場づくり・キャリア制度の確立	・ 空家調査、空家改修支援、農村版空き家おこし協力隊の活用	
⑥	豊かな海づくりの推進	・ 漁業振興に資する魚種の種苗生産や中間育成の実施及び新たな魚種の養殖の検討 (マダコ・サーモン) や飼育技術の向上など、「豊かな海を育てる漁業」の推進。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ キジハタなど、需要の高い魚種の育苗に関する研究。 ・ 漁協等との調整 等 	
⑦	豊かな海づくりの推進	・ 配布・放流 (目標値) ヒラメ 50千尾 マナマコ 50千個体 マダイ 40千尾 マコガレイ 45千尾 等	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 種苗生産 (目標値) 3種→5種 事業生産 (3種) (ヒラメ、マナマコ、アサリ) 生産試験 (3種) (マコガレイ、カサゴ、アマモ) 	
⑧	経営安定化に向けた財務体質の強化	・ 施設管理運営および指定管理業務における既存事業拡充	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 素牛販売拡大 ・ ペレット堆肥の生産販売、草刈・竹林整備作業請負実施 ・ 経営計画の改定及び進捗管理 ・ 既存自主事業の見直し 	
⑨	ガバナンス・コードに即した組織運営および働き甲斐のある職場づくり・キャリア制度の確立	ガバナンスの強化	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営会議、ガバナンス推進本部、理事会、評議員会の開催 等 ・ コンプライアンスの徹底、リスク管理チェック、アンケートの実施、内部通報制度の運用 等 働き甲斐のある職場づくり等の取組み	
⑩	ガバナンス・コードに即した組織運営および働き甲斐のある職場づくり・キャリア制度の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公規規程および関係法令等に関する研修等 ・ 各種資格取得、研修受講補助等による各職員のキャリアアップの推進 ・ 専門知識の習得や飼育・栽培技術の向上・継承ができる環境整備の実施 ・ 各職員が事業の最前線を担い、その業務がより良く遂行することができる組織体制の整備 ・ 人材育成に向けて人事評価制度を活用、処遇への反映の検討および協議 ・ 多様な勤務体制に対応した働きやすい職場環境の整備 等 	

ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
短期的ミッション															
①	里山・農村地域の活性化に関する事業の実施、具体的成果の早期実現	<p>1. 持続可能な農業の振興 【農業の担い手育成】</p> <p>← 神戸ネクストファーマー、神戸農村スタートアッププログラム →</p> <p>← 果樹の新規就農者の育成 →</p> <p>← 果樹の栽培実習（FFPや押部谷果樹団地での管理作業、収穫、販売など） 剪定作業・農家とのマッチング →</p> <p>← 休耕地活用した市民農園等の整備・新たな担い手（こうべ給食ファーマー）の育成 →</p> <p>【観光農園・貸農園支援】</p> <p>← イチゴ狩りPR トウモロコシ狩りPR ぶどう・なし狩りPR いもほり・柿狩りPR 貸農園PR →</p> <p>2. 農村定住環境の整備 【定住人口の増加】</p> <p>← ワンストップ相談窓口の運営、定住促進コーディネーター、空家バンク、移住体験施設、空家改修支援 →</p> <p>← 空家調査 →</p> <p>← 空家の掘り起こし調査、所有者の意向確認、法令調査、移住希望者とのマッチング →</p> <p>← 地域おこし協力隊の活用 →</p> <p>← 公社業務（移住促進、農業振興）をしながら、地域活動へ参加 →</p> <p>3. 里山活性化支援の実施</p> <p>← 事業募集・選定 →</p> <p>← 事業実施 →</p> <p>← 実績報告 →</p>													
		②	循環型農業の推進	<p>1. 堆肥ペレット化施設の活用</p> <p>← 造粒試験等 →</p> <p>← ペレット堆肥生産・販売 →</p> <p>2. 果樹剪定枝、伐採竹林の炭化および炭素固定等の検証・実証</p> <p>← (果樹) 剪定作業 →</p> <p>← (竹林) 伐採→炭化又はチップ化→農地等へ施肥（随時） ※公社から炭化器、チップの貸出により実施 →</p> <p>← 炭化作業 →</p> <p>← 散布等 →</p> <p>← 竹林整備作業（請負） →</p> <p>3. スマート農業の促進</p> <p>← ラジコン草刈機デモ実施、貸出等 →</p> <p>← 草刈り作業（請負） →</p>											
				③	水産資源の維持・増大	<p>1. 種苗生産</p> <p>← ヒラメ (50千尾) →</p> <p>← マナマコ (50千個体) →</p> <p>← アサリ (2,000千個体) →</p> <p>2. 中間育成</p> <p>← ヒラメ (50千尾) →</p> <p>← マコガレイ (15千尾) →</p> <p>← マダイ (40千尾) →</p> <p>← クマエビ (20千尾) →</p> <p>← マコガレイ →</p> <p>3. 学校見学等受入</p> <p>← 随時実施 →</p> <p>4. 種苗生産技術の開発</p> <p>← マコガレイ (30千尾) →</p> <p>← カサゴ →</p> <p>← アマモ →</p> <p>← マコガレイ →</p> <p>← カサゴ →</p> <p>← アマモ →</p> <p>5. 飼育技術の向上等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類分科会・担当魚種会議等において、他施設の飼育方法等について情報交換を実施。 ・栽培漁業センターにおける養殖実施（マダコ・サーモン）について、関係者との協議や検討。 ・海域の栄養塩維持のため、市内産堆肥を活用したペレットの海洋施肥実施に向けた検討を実施。 <p>← ヒラメ →</p>									

ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
④ 経営安定化に向けた財務体質の強化	<p>1. 施設管理運営および指定管理業務における既存事業の拡充</p> <p>2. 素牛販売拡大</p> <p>3. ペレット堆肥の生産販売、草刈・竹林整備作業請負実施による増収</p> <p>4. 経営計画の改定及び進捗管理</p> <p>5. ワイン事業の見直し (事業継承)</p>											
⑤ 働き甲斐のある職場環境の整備	<p>1. ガバナンスの強化 外部弁護士等も加えたガバナンス推進本部の開催、理事会への報告 経営会議・ガバナンス改善チーム会議（毎月）、事業部会議（隔月）。各事業部会議（主任会議・安全衛生委員会等）</p> <p>2. 関係法令等に関する研修等の実施（年6回程度）</p> <p>3. 各種資格取得、研修受講等（随時）</p> <p>4. 人事評価の処遇への反映検討 処遇等への反映の検討・協議</p> <p>5. 勤怠管理・給与計算等システム導入 事業者決定・導入準備等 運用開始</p>											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	団体目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 里山・農村地域の活性化および持続可能な農漁業の振興への貢献 ○ 自主事業の見直し等による経営改善 ○ ガバナンスの強化
	○ 持続可能な里山・農村地域の振興への貢献、農村への移住・定住の促進	
	担い手の育成・地域振興	
	・ 果樹就農（R4～7年度 計40名）	
	・ 神戸ネクストファーマー（R4～7年度 計130人）	
	： 規制緩和による小規模農地の新たな担い手育成	
	・ 給食ファーマー（R5～7年度 計75名）	
	・ 神戸農村スタートアッププログラム（R4～7年度 計80人）： 農村での起業支援	
	・ 観光農業の推進（R4～7年度 計20万人）	
	SDG s 農業の普及・推進	
	・ 市内資源循環の推進 市内産堆肥の販売（R7年度 ペレット堆肥1000t・バラ堆肥300t）	
	・ スマート農機等の活用推進 ラジコン草刈機の実演会・講習会（実演会30地区・講習会10回/年）	
	： スマート農機等レンタル事業の実施（ラジコン草刈機 竹チッパー）	
	： 作業請負の実施（草刈 年20回、竹林整備 年15回）	
	・ ゼロカーボンの取組み 果樹剪定枝の炭素固定（R5～7年度 CO ₂ 換算累計75トン）	
	移住・定住の推進	
	・ 農村への移住件数（R3～7年度 計75件）	
	○ 豊かな海づくりの推進	
	水産資源の増大	
	・ 配布・放流（ヒラメ 50千尾、マナマコ 50千個体、マダイ 40千尾、マコガレイ 45千尾、クマエビ20千尾）	
・ 新品種種苗生産（R5 1品種増、R6 1品種増）		
○ 経営安定化に向けた財務体質の強化		
既存事業の拡充・見直し		
・ 六甲山牧場や平磯海づくり公園等、施設の魅力向上により入場者数増加を図る。		
（六甲山牧場 R7:26万人、平磯海づくり公園 R7:8万人）		
・ ワイン事業継承による自主事業の見直し		
新たな収益事業の創設（再掲）		
・ 市内産堆肥の生産・販売の実施（R7：ペレット堆肥1,000t、バラ堆肥300t生産）		
・ 草刈、竹林整備におけるスマート農機等のレンタル・作業請負の実施		
（作業請負：草刈 年20回、竹林整備 年15回）		

目 標 及 び 実 現 方 法	○ ガバナンスの強化・働き甲斐のある職場づくり
	ガバナンスの強化
	・外部の弁護士等を加えたガバナンス推進本部の開催及び理事会への報告
	・ガバナンス改善に向けた公社内会議（経営会議、ガバナンス改善チーム会議）の開催等（毎月）
	人材育成
・研修、セミナー、講演会等の実施及び参加（毎年度 5 回、参加者 延 200人）	

■ 市支援策の活用状況（令和 5 年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	